

発刊によせて

全国各地で、子供・若者を育成支援する活動や、子育てを支援する活動が、多くの方々の尽力によって様々な形で行われています。子供・若者の健全育成をめぐる問題は、ニートやひきこもりなど若者の自立をめぐる問題の深刻化や、児童虐待、いじめ、少年非行、有害情報の氾濫、子供の貧困等の問題が、子育て支援については、仕事と子育ての両立の難しさ、子育て中の孤立感や負担感等の課題が顕在化しており、いずれも我が国の将来に関わる重要な課題です。このため政府や地方公共団体は様々な施策を講じているところですが、企業、地域社会、各種団体、家庭、そして国民一人ひとりが互いに連携・協力し合いながら、社会全体でこうした課題に取り組んでいくことが不可欠であり、内閣府では、子供・若者が健やかに成長し、全ての若者が持てる能力を活かし自立・活躍できる社会の実現を目指して、優れた活動を行っている企業、団体又は個人を顕彰することとしています。

内閣府の顕彰には、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動において顕著な功績があった者を顕彰する「子供と家族・若者応援団表彰」と、子供や若者が地域や社会の輝く未来に向けて行った社会貢献活動において顕著な功績があった者を顕彰する「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」があり、それぞれについて内閣総理大臣表彰と内閣府特命担当大臣表彰が授与されます。また、「子供と家族・若者応援団表彰」に推薦された取組の中から、広く社会に紹介することが相応しいと認められる活動に対して「チャイルド・ユースサポート章」が授与されます。

今年度は、「子供と家族・若者応援団表彰」と「未来をつくる若者・オブ・ザ・イヤー」の両表彰併せて内閣総理大臣表彰が5件、内閣府特命担当大臣表彰が20件に授与されました。また、「チャイルド・ユースサポート章」が6件に授与されました。

現在、新型コロナウイルス感染症は、子供・若者やその家族を取り巻く環境にも影響を与えており、生活の様々な局面での不安や、望まぬ孤独、社会からの孤立に直面する可能性が高くなっているとも言われています。こうした中、今年度の受賞者・受章者の活動は、子供や若者、子育てを担う家族に寄り添い、その健やかな成長を支え、安心と希望に満ちた社会の実現に大きく貢献するもの、あるいは、若者が主体的に地域や社会の輝く未来の実現に大きな役割を果たすものです。

本事例集には、これら受賞者・受章者の活動内容が収録されています。子供・若者の育成支援や子育て又は子育てを担う家族の支援に関わる方々、社会貢献活動に取り組んでいる方々やこれから取り組もうと考えている方々などに広くご活用いただければ幸いです。

令和3年3月

内閣府政策統括官(政策調整担当)

内閣府子ども・子育て本部統括官